

中国事業担当の執行役員就任のお知らせ

日本臓器製薬株式会社(本社:大阪、以下「日本臓器製薬」)は、中国事業担当の執行役員として包 俊生(バオ ジュンシャン)氏が10月21日付で就任したことをお知らせいたします。

包氏は日本の製薬企業3社で、計16年以上の実務経験を有しています。その間、各社で中国国内での会社設立やその経営管理を担当し、販売、生産、品質、サプライチェーン、財務および人事など経営の各分野に携わってきました。日本臓器製薬は中国における事業経験が豊富な人材を迎えることにより、中国事業の拡大を目指してまいります。

【包 俊生(バオ ジュンシャン)氏 プロフィール】

2007年4月に株式会社ツムラに入社後、本社の漢方原料調達を担当。中国子会社の取締役兼事業部長も務め、経営管理全般を指揮した。2013年4月に小林製薬株式会社に入社。本社漢方開発部における漢方原料供給体制の構築と、中国国内の漢方製剤生産子会社の設立を担った。2018年5月に中外製薬株式会社に移り、製薬本部の業務に従事。中国医薬品市場の戦略計画を制定などに携わったほか、中国法人の副社長を務めた。2023年10月に日本臓器製薬に入社し、執行役員に就任。



【日本臓器製薬について】

日本臓器製薬は1939年の創業以来、整形外科をはじめとする専門領域の医師の強い期待と信頼に応え、医薬品の研究開発から製造販売まで、製薬に関するすべての業務を一貫して手掛けてきました。現在、医療用では疼痛治療薬の「ノイロトロピン」を中心に整形外科領域を主な対象としており、研究開発はオープンイノベーションを軸とした取り組みをさらに推し進め、アカデミアとの連携や他社との協業、製品導入・導出につなげていく方針を掲げています。加えて、これまでに培った整形外科領域での経験やネットワークを活用することで、新薬だけでなく新医療デバイスも共創し、世界に展開していく新たなビジネスモデルを実現していきます。

<お問合せ先>

担当部署 コーポレートコミュニケーション室

TEL. 06-6203-0441(代表) MAIL. corp-branch@nippon-zoki.co.jp